

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年4月1日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691400107
法人名	医療法人 浩愛会
事業所名	グループホーム ひいらぎ
所在地	鹿児島県垂水市柗原625番地2 (電話) 0994-35-3686
自己評価作成日	令和2年2月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年3月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念である「思い・願いを大切に笑顔で明るく楽しい生きがい作り」をモットーに、入居様が安心・安全にその人らしい生活が送れるようにスタッフ皆で情報の共有に努めチームケアに取り組んでいます。また隣接している小規模多機能ホームと連携して季節に応じた食事やおやつ作りを行い「ここのご飯は美味しい」と喜んでいただいています。地域の方々とも各種行事などの時に交流を深め地域に根差した事業所であるよう努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、小規模多機能ホームに隣接して建てられている。隣接ホームとは行事や避難訓練等での交流を日常的に行い、日頃から利用者への目配りなど職員間の協力・連携体制を築いている。
- ・自治会に加入し、地域行事の敬老会や清掃活動に地域の一員として参加したり、事業所行事の七夕・夏祭り・クリスマス会に保育園児が参加する等、地域との交流が行われている。近隣住民からは野菜や苗の差し入れがあったり、菜園作りの助言を受けるなど、良好な関係が築かれている。老人会のグランドゴルフに参加した際にはグループホームの紹介をしてもらっている。
- ・運営推進会議に、民生委員・派出所職員・老人クラブ会長・保育園長等の協力を得て、地域の情報や助言を運営に活かしたり、地域への情報発信の良い機会となっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念をいつも見れるようなところに掲げ一人一人の方に丁寧に対応し気持ちにより添った援助をしています。	理念をホール・玄関等の目につきやすい場所に掲示しパンフレットにも掲載している。毎月ケア会議時にケアを振り返り、理念の実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	行事毎に保育園、地域の方々の参加を呼びかけ踊りや三味線など一年を通して交流がある。又畑の野菜の苗や収穫物を頂いたりして助かっています。	自治会に加入し、敬老会や清掃活動の行事に参加している。事業所の七夕や夏祭り・クリスマス会に保育園児や地域ボランティアの参加があり、住民から野菜の差し入れもあり、地域と日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	夏祭り・敬老会・クリスマス会で寸劇にて認知症を取り上げて笑いを交えて地域の方々にも理解して頂けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市役所・民生委員・警察官等が出席され事業所の取り組み、地域の現状等を報告・意見交換している。又その内容をケア会議でスタッフへ伝えサービス向上に努めている。	2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、ヒヤリハットを含めた事業所の状況報告と意見交換を実施している。多彩な立場からの助言や地域情報が得られ、地域への事業所の情報発信の機会にもなっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>推進会議に毎回出席してもらっている。それ以外の時も包括支援センターの職員が訪問に來たり、警察官が立ち寄り地域の情報を教えてもらっている。</p>	<p>市の担当者とは、運営推進会議時の意見交換や出向いての相談で連携を図っている。市の研修会に積極的に参加し、事業所間の情報交換にも努めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人研修やケア会議で身体拘束を行わないことは理解できていますが言葉の拘束「ちょっと待って下さい」が見られるので理由付けをするように努めている。</p>	<p>指針があり、法人で委員会を毎月、研修会を年1回実施し、事業所ではケア会議で必要時に実施している。不適切な言葉遣いは気づいたときに職員間で注意し、日中は玄関の施錠はせず、外出希望の利用者には、隣接事業所も含めた職員の目配りと連携で対応している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>法人研修等により学ぶ機会を持っていて虐待防止に努めている。言葉による虐待等もないようスタッフ全員が意識を持ってケアしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>院内勉強会で毎年実施されスタッフそれぞれが学んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時説明を行っている。不明な点や疑問点があればその都度聞いて説明している。又改定等あった時は文書にて案内し同意書も書いてもらっている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族会や日頃の面会の際、話を聴いてご意見、ご希望があれば出来るだけ添えるようにスタッフ間で情報の共有をしている。</p>	<p>利用者には、普段の生活の中で要望等を聞いている。家族には、家族会や面会時に職員から声をかけて、近況報告を行うと共に要望等を聞いている。嗜好品や新聞購読・電気毛布使用の要望があり、家族の協力も得て対応している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ケア会議、日常の会話、個人面談等で意見交換し、運営に反映している。</p>	<p>2ヶ月に1回の個別面談や日常の業務の中で出された職員の提案等をケア会議で検討し、ケアの統一等に反映させている。個別相談は管理者が受けて適切に対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>厳しい現状の中で、整備されていると思う。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>個人のレベルに合った研修に参加してもらいスキルアップできるよう取り組んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>各行事等に招待してまた参加して交流したり、研修会で得た情報をケア会議等で伝えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居者様の日頃の様子を見ながら声掛けを行い希望があれば出来る範囲で思いに寄り添って信頼関係を築けるよう努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>希望、不安などをしっかり傾聴し安心して生活が出来るように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>情報提供書に目を通し情報を共有しチームケアに努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>食事の下ごしらえや洗濯物干し・たたみ等できる事はしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時等、入居者の近況報告をし理解頂いている。ご家族の要望にも出来る限り対応している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	一人一人の入居者に対応して外出や交流などを行っている。	面会時には居室でお茶を飲みながら歓談してもらい、受診や美容室・墓参り・外食・外泊等で家族と出かけたり、職員が受診や美容室の送迎を行う等、これまでの関係が途切れないよう支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の関係そ把握してトラブルにならないよう留意している。また孤立しないよう心掛けている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	挨拶や各行事のお知らせを通して関係を保っている。相談等あれば出来る範囲で支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人一人の思い願いを大切に希望や意向を反映できるようにケア会議で話し合っている。	お茶の時間や入浴時・夜勤帯等での会話から本人の思いを把握するように努めている。意思疎通が困難な場合は、家族の情報をもとに表情等から推測し、本人の思いに添って支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時の情報提供書やモニタリングに目を通し把握に努めている。ご家族や本人にもきいている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の関わりの中でできる事・できない事を探り、できる事が継続していけるようスタッフ間でケアの統一に心掛けている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者が寄り良く暮らせるようにケア会議で話し合い介護計画を作成している。	面会時に担当者会議を実施し、本人・家族・職員との話し合いをもとに、ケア会議時の職員の意見を入れて介護計画を作成している。モニタリングを3ヶ月に1回実施し、見直しも同時に行っており、状況変化時にもその都度計画を見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌は一日が一目でわかるように見やすくしている。変化や気づき等があった時は個別に記録をし、スタッフ間で共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人一人のニーズ対応できるようスタッフ間で情報を共有し可能な限り実践している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事開催時の参加呼びかけ、地域行事への参加もし楽しめる生活がおくれるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	変わらずかかりつけの病院に依頼するよう支援している。緊急時にすぐに対応できるよう連携も図っている。	契約時にかかりつけ医の希望を聞いている。協力医療機関との24時間医療連携体制及び月2回の往診や事業所看護師が健康管理をしている。結果は家族に報告している。他科受診は家族の協力を得て行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	いつもの状態と違う時や対応が必要な時は報告し、指示をもらっている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	ご家族や入院先の相談員と連携し情報交換などを行い、退院後も支障なく生活ができるよう努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	時期をみてご家族・主治医・スタッフで話し合い意向に添えるよう情報の共有をしながらチームケアに取り組んでいる。	事業所の対応については指針で説明し、家族の意向を確認している。状況変化等の場合、医師から家族へ説明している。家族の意向に沿ってチームで支援に取り組んでおり、看取り介護の事例がある。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	年一回救命訓練（心肺蘇生法、AED使用法）を実施、緊急時に備えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年二回避難訓練を行い、近隣の方にも出来るだけ参加を促している。また推進会議で災害時の協力もお願いしている。</p>	<p>年2回昼夜想定で避難訓練を実施し、消防署の立ち合いがある。運営推進会議時に地域への協力を依頼している。備蓄は、水・米・レトルト食品・缶詰を確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>言葉遣いに気を付けて一人一人に尊厳を持って接し、人格と誇りを傷つけないように心がけている。</p>	<p>法人で研修会を実施している。さん付けで呼びかけ、個々に合わせた言葉遣いに努めている。排泄介助時のさりげない声かけ等、羞恥心へも配慮し、申送り時は利用者に内容がわからないように行っている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>スタッフの判断ではなく入居者の意思確認をし判断してもらっている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>パーソンセンタードケアを基本にしてその人のペース希望に添って生活できるように努力している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>本人に洋服を選んでもらったり、希望時に美容院に行けるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節を感じられるメニューやお菓子作りしている。料理の下ごしらえや皿洗いなどもできる方にはしてもらっている。	献立は職員が作成し、旬の野菜や差し入れの野菜等から調理している。利用者も下ごしらえや皿洗いを一緒に行い、職員と楽しく食事を摂っている。誕生日のケーキ・季節の行事食・外食等で楽しんでもらえるように配慮している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量を記録に残しそれをみながら声かけしている。また好きな飲み物をご家族に持ってきて頂いたりしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後出来ていない方もいますが、就寝前にはきちんと行えるよう支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	本人の状態をみながらできるだけ自己にて行えるよう支援している。	排泄チェック表で個々のパターンを把握し、仕草等のサインから声かけ・誘導・見守り等を行ない、日中はトイレでの排泄を基本に支援している。夜間は状況に応じて、ポータブルトイレやオムツも使用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便記録を確認し個々の状態に合わせて体操やマッサージ水分補給を促している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	その日の体調に合わせて希望に応じて対応している。足先が冷える方には足浴も行っている。	隔日に入浴を実施し、希望の時間に入っており、毎日の入浴希望にも対応している。入浴を嫌がる利用者はいない。失禁時には陰洗やシャワー浴を実施し、保清に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者のペースに応じて居室に戻って頂いている。なかなか入眠できない時はお茶を飲みながら話をしたりして対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医療管理簿を作成し個々の薬の情報を確認できるようにしている。服薬後の状態把握にも努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方のできる事に合わせて手伝いをもらったり、少しでも楽しんでもらえるようなレクリエーションを考えている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	気候の良い日等に散歩に行けるよう努めている。花見や初詣など季節を感じられるような外出行事も計画している。また家族の協力で外食や美容院などにも行ってもらっている。	天候の良い日は、車いすの利用者と一緒に近隣を散歩している。計画を立てて、初詣や花見・外食・ドライブに出かけたり、希望等で、近くの買い物やドライブに行っている。家族と受診や美容室・墓参り・外食・ドライブ・外泊等に出かける利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理できる方は管理しており、出来ない方はご家族と協議して買い物の希望などをきいて一緒に出掛けたり購入したりしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話したいと希望あればその都度行っている。毎年年賀状も作成し近況報告をし、ご家族からの返事も楽しみにされている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感が感じられる展示物を共用の場に展示している。また湿度・温度を測定し過ごしやすい空間作りに努めている。	リビングは天井が高くゆったりした広さがあり明るい。室内は換気に努め、空気清浄機やエアコン・濡れタオルで適度な室内環境を保つようにしている。利用者はそれぞれ、一段高い和室スペースやソファ等の好みの場所でくつろいでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者の同士の関係性に応じて席替えを行っている。テーブル以外にもソファを置くなどしてリラックスできる場所を提供している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	在宅で使用されていた物を持ってもらい本人が居心地よく過ごせるような居室作りに努めている。	居室には電動ベッド・タンス・エアコンがあり、寝具はリースである。本人がテレビや洋服かけ・位牌・写真・鏡・化粧品・ぬいぐるみ等を持ち込んで、安心して過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	その方の状態に応じて安全に過ごせるように職員間で連携し改善している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない